



## 2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月13日

上場会社名 日本KFCホールディングス株式会社  
コード番号 9873 URL <https://japan.kfc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 判治 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 蜂谷 由文

TEL 045-307-0700

定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年3月期	110,685	10.8	5,862	61.9	6,707	54.4	4,332	74.0
2023年3月期	99,926	2.5	3,622	40.7	4,344	37.4	2,489	45.4

(注) 包括利益 2024年3月期 4,396百万円 (79.0%) 2023年3月期 2,456百万円 (46.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	％	％	％
2024年3月期	193.87		14.7	12.1	5.3
2023年3月期	111.41		9.1	9.0	3.6

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 119百万円 2023年3月期 519百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円銭
2024年3月期	61,359	31,157	50.8	1,394.40
2023年3月期	49,077	27,883	56.8	1,247.83

(参考) 自己資本 2024年3月期 31,157百万円 2023年3月期 27,883百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	12,896	222	1,702	33,671
2023年3月期	2,044	751	1,450	22,253

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	％	％
2023年3月期		25.00		25.00	50.00	1,121	44.9	4.1
2024年3月期		25.00		25.00	50.00	1,121	25.8	3.8
2025年3月期(予想)								

2025年3月期の配当予想は未定です。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

当社の連結子会社である日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社とKFC Asia Franchise Pte.Ltd.との間で締結されているマスターフランチャイズの許諾と商標使用許諾に係る契約は、2024年11月30日に契約期限が到来する予定であるところ、本日(2024年5月13日)現在において同契約について更新合意が締結されていないため、2025年3月期の連結業績予想につきましては、合理的な数値の算出が困難であり開示を見合わせます。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	22,423,761 株	2023年3月期	22,423,761 株
期末自己株式数	2024年3月期	78,633 株	2023年3月期	78,318 株
期中平均株式数	2024年3月期	22,345,318 株	2023年3月期	22,342,840 株

(参考)個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	6,646	43.4	2,764	114.1	3,289	138.3	2,678	130.9
2023年3月期	4,633	6.4	1,291	14.0	1,380	8.3	1,159	1.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	119.86	
2023年3月期	51.91	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	25,044	22,827	91.1	1,021.57
2023年3月期	22,606	21,260	94.0	951.43

(参考) 自己資本 2024年3月期 22,827百万円 2023年3月期 21,260百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社の連結子会社である日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社とKFC Asia Franchise Pte.Ltd.との間で締結されているマスターフランチャイズの許諾と商標使用許諾に係る契約は、2024年11月30日に契約期限が到来する予定であるところ、本日(2024年5月13日)現在において同契約について更新合意が締結されていないため、2025年3月期の連結業績予想につきましては、合理的な数値の算出が困難であり開示を見合わせます。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、コロナ禍からの回復による人流増加が続くなど経済活動の正常化が進みました。また、海外情勢としては中国における不動産市場の停滞に伴う先行き懸念に加え、ウクライナやイスラエル情勢等に伴う地政学的リスクの高まりなど、引き続き不透明な状況が継続しております。

外食業界におきましては、行動規制の緩和、インバウンド需要の増加に伴う人流回復等により、売上は堅調に推移しております。一方で、原材料価格等の高止まりや引き続き物価高のなかで消費者の節約志向は高まっております。加えて人件費も上昇傾向にあり、依然として厳しい状況が継続しております。

このような状況下、当社グループにおきましては、積極的な新規出店、ブランド力の維持・向上を目的とした既存店舗の改装促進、お客さまの利便性及び購買体験価値の向上を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を重要施策と位置付けております。

当連結会計年度におきましては、主力のKFC事業で、年間を通じて日常利用の促進を図りました。「ハレの日」需要強化の一環として、オリジナルチキンを中心とした大人数向け商品の「お盆におすすめ！10ピースパック」や「ひなまつり9ピースバーレル」のほか、人気の「パーティバーレル」や「ケンタお重」等を実施いたしました。また、普段のお食事をもっとお得にお楽しみいただけるように「秋のトクトクパックサイド1個無料」や「ファン感謝祭パック」、「40%OFFパック」等のバリューキャンペーンを展開いたしました。

さらに「ガーリックホットチキン」、「辛みそにんにくチキン」等の新チキン商品を積極的に投入するとともに、「レッドホットチキン」や「とろ〜り月見」シリーズ、「チーズにおぼれるフィレバーガー」等の季節商品の定番化で話題性の向上と売上の最大化を図りました。また、「カリホクハッシュのフィレバーガー」や「ニューヨークチキンバーガーズ」、「和風チキンカツバーガー本格ゆず七味」等の新バーガー商品を定期的に販売し、「バーガー」の認知拡大を図るとともに、「チキンフィレバーガーセット550円」等のキャンペーンを展開することでバーガー未経験のお客さまでもお得にお試しいただける機会を創出し、ファン層の拡大を目指しました。

プロモーション活動では、テレビCMをはじめ、デジタルメディアへの広告・PR強化のほか、人気ゲームとのコラボ企画による新規顧客の獲得に向けた施策を実行いたしました。さらには、デリバリーへの対応拡大、オンラインオーダーの整備、新ポイントサービスの導入等のデジタル戦略を加速させました。

店舗数につきましては、当連結会計年度において51店舗（直営13店舗・フランチャイズ38店舗）と1,200店舗達成後も積極的に出店を継続し、1,232店舗となりました。改装につきましては、183店舗（直営45店舗・フランチャイズ138店舗）実施、配達代行を含むデリバリーサービスの実施店舗は942店舗となりました。「もっと近くに、より快適に」の実現に向けて、テイクアウト専門店やドライブスルー特化型店舗の出店、改装によるセルフレジ、ピックアップロッカーやドライブスルーサイネージの設置など、積極的な店舗開発を進めました。

人財・ITシステムなどの事業インフラのさらなる強化としては、お客さまの体験価値向上を図るため、品質(Quality)、サービス(Service)、清潔さ(Cleanliness)、おもてなしの心(Hospitality)をもって接する「QSC×H」を実践し、店舗オペレーションの改善によりサービスの課題解決に努めました。また、店舗及び本部システムの改修による業務効率化や従業員の研修プログラムの変更等を実施いたしました。その他の活動として、調理体験教室の再開や子ども食堂等への食材提供支援の拡大、フードバンクへの寄付やプラスチック使用量の削減等を推進いたしました。これらのサステナビリティ活動にグループ全体で取り組み拡大していくために、サステナビリティ方針とマテリアリティ（重要課題）を特定し、「食」「地球」「人」「地域」の4つの領域でアクションを整理いたしました。今後、具体的な活動を実践してまいります。

これらの結果、当社グループの当連結会計年度の業績は、売上高は1,106億8千5百万円（対前連結会計年度比10.8%増）、営業利益は58億6千2百万円（同61.9%増）、経常利益は67億7百万円（同54.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は43億3千2百万円（同74.0%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の連結財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は122億8千1百万円増加し、613億5千9百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加114億1千7百万円、売掛金の増加9億5百万円及び投資有価証券の減少18億8千9百万円等によるものであります。

負債は90億7百万円増加し、302億1百万円となりました。その主な要因は、買掛金の増加21億3千2百万円、未払金の増加15億9千6百万円、リース債務の増加18億6千9百万円及び未払法人税等の増加24億9千5百万円等によるものであります。

純資産は311億5千7百万円となり、前連結会計年度末と比較して32億7千4百万円増加し、自己資本比率は50.8%となっております。その主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上43億3千2百万円及び剰余金の配当による減少11億2千1百万円等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して114億1千7百万円増加し、336億7千1百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは128億9千6百万円となりました。その主な要因は税金等調整前当期純利益69億7千8百万円、減価償却費24億1千1百万円、仕入債務の増加21億3千2百万円、利息及び配当金の受取額11億1千3百万円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは2億2千2百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出12億8千8百万円及び投資有価証券の払戻による収入15億8百万円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは△17億2百万円となりました。その主な要因は、配当金の支払額11億2千1百万円及びリース債務の返済による支出5億7千9百万円等によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	57.4	55.3	56.0	56.8	50.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	135.83	155.47	132.91	128.81	163.69
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	385.99	1,330.35	1,342.78	180.53	233.60

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値より算出しております。

2 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

3 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

4 キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスである決算期、あるいは有利子負債及び利払いのない決算期につきましては記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社の連結子会社である日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社とKFC Asia Franchise Pte.Ltd.との間で締結されているマスターフランチャイズの許諾と商標使用許諾に係る契約は、2024年11月30日に契約期限が到来する予定であるところ、本日（2024年5月13日）現在において同契約について更新合意が締結されていないため、2025年3月期の連結業績予想につきましては、合理的な数値の算出が困難であり開示を見合わせます。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、今後の動向を注視しつつ、適切に対応する体制の整備に努めてまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,253	31,671
売掛金	6,664	7,569
有価証券	2,000	2,000
商品	490	637
原材料及び貯蔵品	85	80
前払費用	492	403
未収法人税等	519	4
その他	1,012	942
貸倒引当金	△0	-
流動資産合計	31,518	43,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,620	13,117
減価償却累計額	△9,313	△9,526
建物及び構築物(純額)	3,306	3,591
機械装置及び運搬具	899	940
減価償却累計額	△685	△698
機械装置及び運搬具(純額)	213	241
工具、器具及び備品	2,867	2,895
減価償却累計額	△2,331	△2,273
工具、器具及び備品(純額)	535	621
土地	940	940
リース資産	3,695	3,736
減価償却累計額	△2,615	△980
リース資産(純額)	1,079	2,755
建設仮勘定	2	53
有形固定資産合計	6,077	8,203
無形固定資産		
ソフトウェア	2,122	1,769
ソフトウェア仮勘定	8	62
その他	0	0
無形固定資産合計	2,130	1,831
投資その他の資産		
投資有価証券	3,286	1,397
長期前払費用	467	743
差入保証金	3,946	3,859
繰延税金資産	1,667	2,023
その他	26	27
貸倒引当金	△44	△39
投資その他の資産合計	9,350	8,012
固定資産合計	17,559	18,048
資産合計	49,077	61,359

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,971	10,103
未払金	5,838	7,434
リース債務	264	728
未払法人税等	89	2,585
未払消費税等	168	689
未払費用	678	592
賞与引当金	872	1,297
役員賞与引当金	113	175
資産除去債務	53	35
契約負債	18	18
その他	300	402
流動負債合計	16,370	24,061
固定負債		
リース債務	944	2,350
退職給付に係る負債	2,103	2,018
株式給付引当金	95	158
資産除去債務	1,147	1,145
その他	533	465
固定負債合計	4,823	6,139
負債合計	21,194	30,201
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,297	7,297
資本剰余金	9,689	9,689
利益剰余金	10,926	14,137
自己株式	△187	△188
株主資本合計	27,725	30,935
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151	162
為替換算調整勘定	△4	23
退職給付に係る調整累計額	10	36
その他の包括利益累計額合計	157	222
純資産合計	27,883	31,157
負債純資産合計	49,077	61,359

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>売上高</b>		
売上高	88,827	99,139
その他の営業収入	11,098	11,545
売上高合計	99,926	110,685
<b>売上原価</b>		
売上原価	52,230	57,977
その他の原価	7,165	7,389
売上原価合計	59,395	65,367
<b>売上総利益</b>	40,531	45,317
販売費及び一般管理費	36,909	39,454
<b>営業利益</b>	3,622	5,862
<b>営業外収益</b>		
受取利息	1	1
受取配当金	10	10
受取賃貸料	212	176
受取協力金	161	-
受取遅延損害金	-	94
カード退蔵益	39	82
為替差益	0	559
持分法による投資利益	519	119
その他	33	38
営業外収益合計	978	1,082
<b>営業外費用</b>		
支払利息	11	55
店舗改装等固定資産除却損	8	5
賃貸費用	208	157
その他	27	20
営業外費用合計	256	238
<b>経常利益</b>	4,344	6,707
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	26	0
店舗譲渡益	0	267
受取補償金	8	68
特別利益合計	35	336
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	3	9
減損損失	123	55
ゴルフ会員権売却損	1	-
ゴルフ会員権評価損	3	-
その他	1	-
特別損失合計	132	65
税金等調整前当期純利益	4,246	6,978
法人税、住民税及び事業税	1,042	3,020
法人税等調整額	715	△374
法人税等合計	1,757	2,646
当期純利益	2,489	4,332
親会社株主に帰属する当期純利益	2,489	4,332

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	2,489	4,332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	10
為替換算調整勘定	0	28
退職給付に係る調整額	△9	26
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△32	64
包括利益	2,456	4,396
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,456	4,396
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	7,297	9,689	9,782	△209	26,559	174	△4	19	190	26,750
当期変動額										
剰余金の配当			△1,345		△1,345					△1,345
親会社株主に帰属する当期純利益			2,489		2,489					2,489
自己株式の取得				△0	△0					△0
自己株式の処分				22	22					22
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△22	0	△9	△32	△32
当期変動額合計	-	-	1,143	22	1,165	△22	0	△9	△32	1,133
当期末残高	7,297	9,689	10,926	△187	27,725	151	△4	10	157	27,883

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	7,297	9,689	10,926	△187	27,725	151	△4	10	157	27,883
当期変動額										
剰余金の配当			△1,121		△1,121					△1,121
親会社株主に帰属する当期純利益			4,332		4,332					4,332
自己株式の取得				△1	△1					△1
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						10	27	26	64	64
当期変動額合計	-	0	3,210	△1	3,209	10	27	26	64	3,274
当期末残高	7,297	9,689	14,137	△188	30,935	162	23	36	222	31,157

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	4,246	6,978
減価償却費	1,924	2,411
減損損失	123	55
固定資産除却損	12	15
固定資産売却損益(△は益)	△26	△0
受取補償金	△8	△68
受取協力金	△161	-
受取遅延損害金	-	△94
店舗譲渡損益(△は益)	△0	△267
為替差損益(△は益)	-	△559
持分法による投資損益(△は益)	△519	△119
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	424
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	21	62
株式給付引当金の増減額(△は減少)	20	63
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△102	△43
受取利息及び受取配当金	△11	△11
支払利息	11	55
売上債権の増減額(△は増加)	△1,027	△905
棚卸資産の増減額(△は増加)	△62	△142
仕入債務の増減額(△は減少)	1,000	2,132
未払金の増減額(△は減少)	192	1,288
未払費用の増減額(△は減少)	15	△158
前受収益の増減額(△は減少)	△33	△1
未払消費税等の増減額(△は減少)	△144	756
その他	△388	△146
小計	5,077	11,719
利息及び配当金の受取額	11	1,113
利息の支払額	△11	△55
法人税等の支払額	△3,202	△44
受取補償金の受取額	8	68
受取協力金の受取額	161	-
遅延損害金の受取額	-	94
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,044</b>	<b>12,896</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,039	△1,288
有形固定資産の売却による収入	825	4
無形固定資産の取得による支出	△582	△380
貸付けによる支出	△0	△2
貸付金の回収による収入	0	0
敷金及び保証金の差入による支出	△62	△96
敷金及び保証金の回収による収入	167	126
店舗譲渡による収入	21	387
投資有価証券の払戻による収入	-	1,508
その他	△80	△37
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△751</b>	<b>222</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△1
自己株式の売却による収入	22	0
リース債務の返済による支出	△131	△579
配当金の支払額	△1,341	△1,121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,450	△1,702
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△157	11,417
現金及び現金同等物の期首残高	22,411	22,253
現金及び現金同等物の期末残高	22,253	33,671

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「カード退蔵益」及び「為替差益」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた72百万円は、「カード退蔵益」39百万円、「為替差益」0百万円、「その他」33百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

当社グループは、「KFC事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,247.83円	1,394.40円
1株当たり当期純利益	111.41円	193.87円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。  
 3 当社は役員報酬BIP信託を導入しております。1株当たり当期純利益を算定するための期中平均株式数については、役員報酬BIP信託が所有する当社株式(前連結会計年度 78,058株、当連結会計年度 78,058株)を控除しております。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,489	4,332
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,489	4,332
普通株式の期中平均株式数(株)	22,342,840	22,345,318

(重要な後発事象)

該当事項はありません。